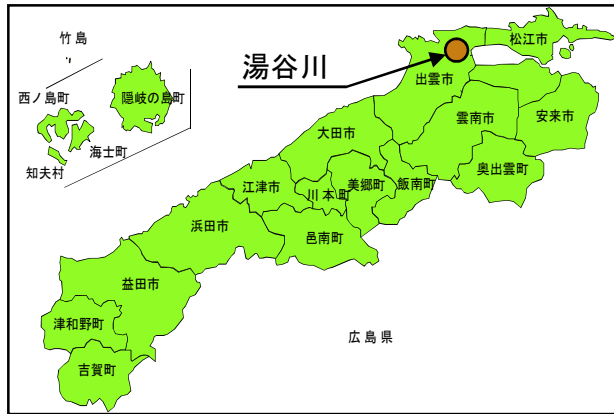


平田船川(湯谷川工区) 広域河川改修事業



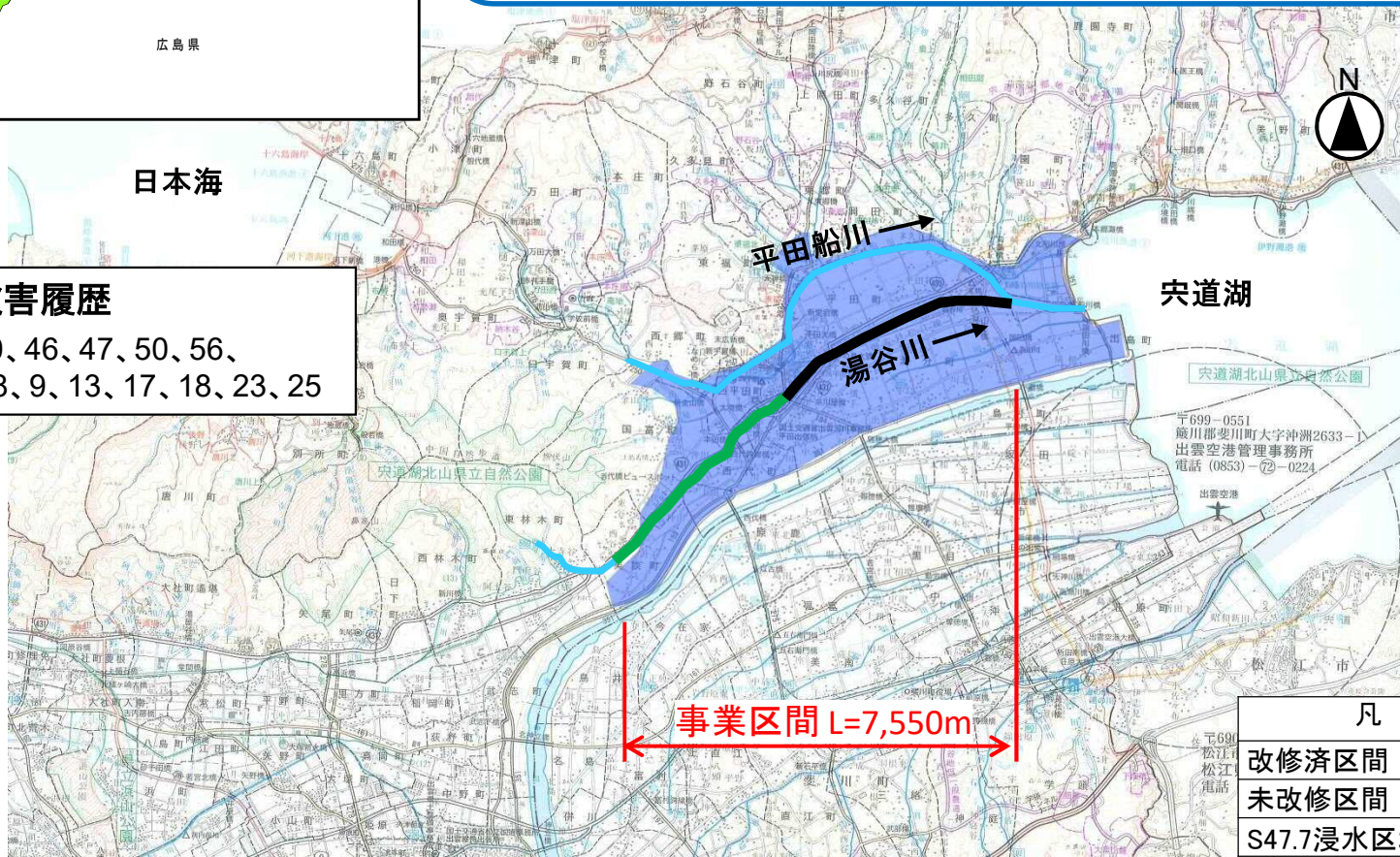
河川概要

平田船川支川の湯谷川流域は地盤が低く、河川勾配も緩やかで宍道湖の影響を受けやすく、浸水被害の常襲地区である。上流部は河積不足による溢水により、床下浸水被害及び国道431号の冠水被害、一畑電車への被害が生じている。

昭和39年の大出水を契機に抜本的な対策として、昭和43年より河川改修に着手した。

浸水被害履歴

S39、40、46、47、50、56、
H5、7、8、9、13、17、18、23、25

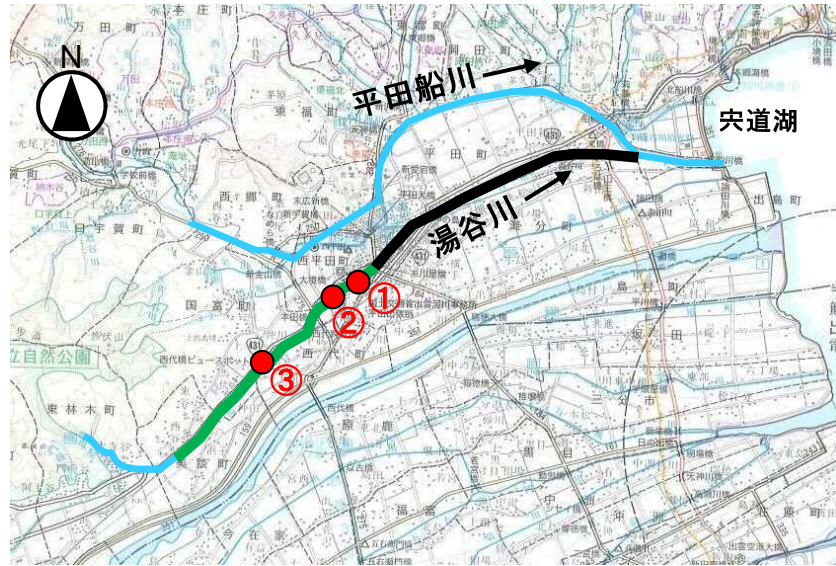


凡例

改修済区間	——
未改修区間	——
S47.7浸水区域	——

平田船川(湯谷川工区)

出水状況写真(H23. 5)



② 本田橋下流付近

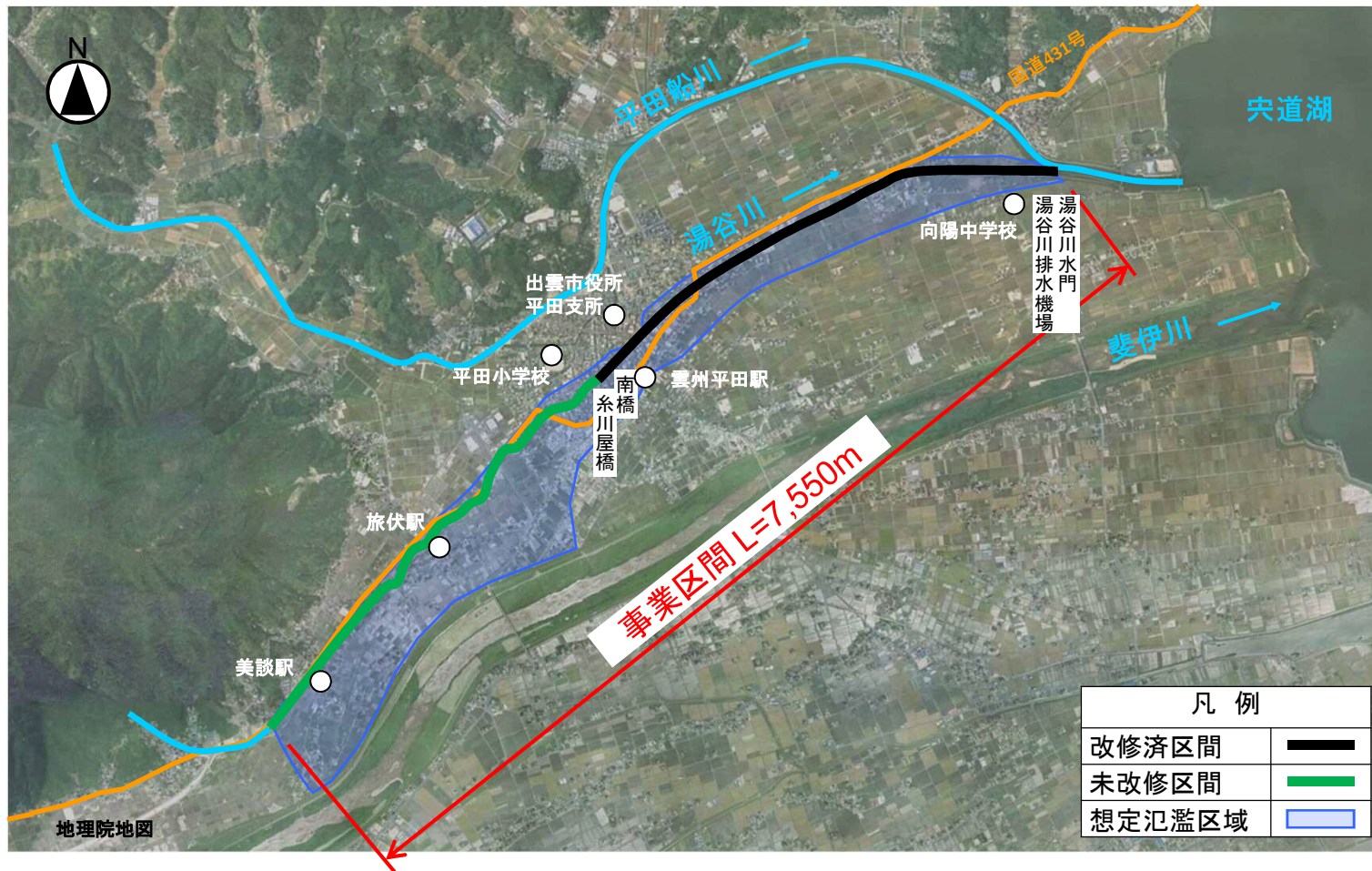


① 京塚橋下流付近



③ 旅伏駅上流付近

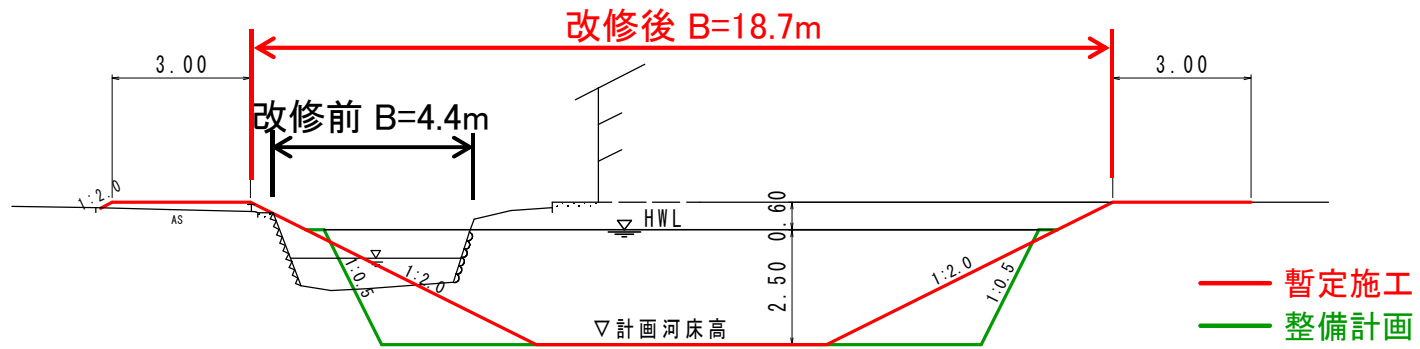
平田船川(湯谷川工区) 想定氾濫区域図(1/50確率)



事業概要

1. 再度浸水被害防止を目的として川幅拡幅による築堤、護岸、掘削を行う。
2. 都市計画街路事業の進展に併せ、河川環境に配慮した親水利用の実現を図る。

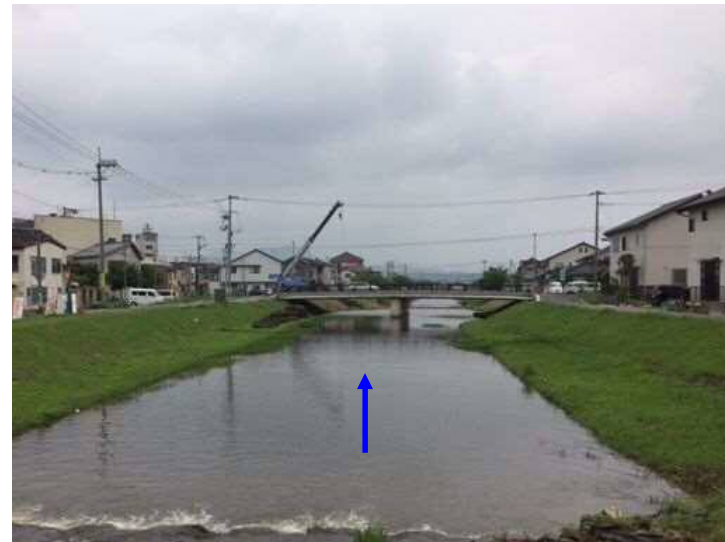
平田船川(湯谷川工区) 標準断面図



近年大きな被害をもたらした平成9年7月と同規模の洪水を安全に流すため、拡幅・掘削などの河道改修を行う。



改修前(南橋から下流)



改修後(南橋から下流)